

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

H27-エイズ-若手-001

ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と
HIV および梅毒罹患率の
推計に関する研究

- 平成 29 年度 総括研究報告書 -

研究代表者

塩野徳史

大阪青山大学

平成 30 (2018) 年 3 月

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

H27-エイズ-若手-001

ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と HIV および梅毒罹患率の推計に関する研究

目次

総括研究報告 3

研究報告

コミュニティセンター利用者調査の結果 13

検査会利用者の属性に関する調査結果 32

研究成果の刊行に関する一覧表 44

ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と HIV および梅毒罹患率の推計に関する研究

研究代表者：塩野徳史（大阪青山大学/MASH 大阪）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、宮田りりい（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH 大阪）

鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

松本健二（大阪市保健所感染症対策監）

半羽宏之（大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課長）

櫻井理恵、真木景子、松村直樹（大阪市保健所感染症対策課）

岡本香子（保健衛生検査所）

研究要旨

本研究の目的は大阪の MSM(Men who have sex with men)を対象に、血液検査と連動させた前向きコホートの構築と人年法を活用して HIV 感染症および梅毒の罹患率を推計し、予防啓発の評価尺度を確立することである。

先行研究では日本の HIV 感染動向は MSM に限局的に拡大しており、特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発で、感染リスクの高い集団である。また MSM において梅毒は感染が増加していることも報告されている。MSM における HIV 感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。ゲイコミュニティにおける血液検査と連動した前向きコホート形成は国内で初めてである。調査デザインは血液検査結果と連動させた前向き追跡研究である。研究参加者の個人特定には指紋認証の技術を応用したシステムによって ID を発行し、氏名や住所などの個人情報取得は必要ない。研究参加者は量的質問紙調査法を活用したベースライン調査とフォローアップ調査および血液検査を継続的に参加する仕組みとした。

初年度はコホート体制や検査体制を整備し、2年度目、3年度目でコホート構築を目指した。登録者目標数 300 人、フォローアップ目標数 100 人としていたが、コホート登録者は3年間で 237 人となり、目標の 79.0%の達成率(2017 年 11 月時点)となった。コホートの継続率は 18.1%と低く、このうち追跡中の新たな HIV 抗体抗原新規陽性者は 0 人、梅毒抗体抗原新規陽性者は 1 人であった。HIV 感染罹患率は計算できなかったが、人年法により梅毒感染罹患率は 2.20%/年(95%信頼区間：-2.06%~6.46%)であると推計した。本研究で実施した検査会は大阪市が事業化し、MASH 大阪(コミュニティセンターdista)と協働で、次年度以降も継続される見込みである。今後も継続してデータを蓄積していくことで意義のある研究成果が得られると考える。



2015年度

	1回目 8月	2回目 9月	3回目 10月	4回目 1月	計	2014年度
受検者数	25人	27人	23人	52人	127人	60人
初利用者	25人	26人	22人	44人	117人	
指紋登録者数	24人 (96%)	22人 (84.6%)	18人 (81.8%)	28人 (63.6%)	92人 (78.6%)	-
結果受け取り	25人	24人	22人	51人	122人	59人
HIV陽性判明数	0人 (0.0%)	3人 (11.1%)	4人 (17.4%)	0人 (0.0%)	7人 (5.5%)	1人 (1.7%)
梅毒受検者	24人	26人	22人	52人	124人	
梅毒陽性判明数(要治療)	0人 (0.0%)	2人 (7.7%)	3人*重複 ¹ (13.6%)	0人 (0.0%)	5人 (4.0%)	2人 (3.3%)
梅毒陽性判明数(既往含む)	2人 (8.3%)	3人 (11.5%)	3人 (13.6%)	2人 (3.8%)	10人 (8.1%)	-

2016年度



	1回目 7月	2回目 8月	3回目 10月	4回目 11月	5回目 1月	計	2015年度
受検者数	47人	19人	26人	36人	43人	171人	127人
初利用者	40人	15人	21人	32人	34人	142人	117人
指紋登録者数	26人 (65.0%)	9人 (60.0%)	16人 (76.2%)	21人 (65.6%)	24人 (70.5%)	96人 (67.6%)	92人 (78.6%)
結果受け取り	44人	19人	26人	35人	42人	166人	122人
HIV陽性判明数	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (3.8%)	1人 (2.8%)	0人 (0.0%)	2人 (1.2%)	7人 (5.5%)
梅毒受検者	47人	19人	24人	36人	43人	169人	124人
梅毒陽性判明数(要治療)	3人 (6.4%)	0人 (0.0%)	1人 (4.2%)	4人 (11.1%)	1人 (2.3%)	9人 (5.3%)	5人 (4.0%)
梅毒陽性判明数(既往含む)	5人 (10.6%)	3人 (15.8%)	4人 (15.4%)	7人 (19.4%)	6人 (14.0%)	25人 (14.8%)	10人 (8.1%)

2017年度



	1回目 5月	2回目 7月	3回目 9月	4回目 11月	5回目 1月	6回目 3月	計
受検者数	48人	30人	25人	31人	39人	39人	212人
初利用者	36人	20人	17人	20人	25人	27人	145人
指紋登録者数	26人 (72.2%)	14人 (70.0%)	8人 (47.1%)	16人 (80.0%)	19人 (76.0%)	23人 (85.2%)	106人 (73.1%)
結果受け取り	48人	28人	25人	30人	39人	35人	205人
HIV陽性判明数	2人 (4.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (0.9%)
梅毒受検者	48人	30人	25人	31人	39人	39人	212人
梅毒陽性判明数(要治療)	2人 (4.1%)	2人 (6.7%)	1人 (4.0%)	0人 (0.0%)	1人 (2.6%)	3人 (7.7%)	9人 (4.2%)
梅毒陽性判明数(既往含む)	5人 (10.4%)	2人 (6.7%)	4人 (16.0%)	2人 (6.5%)	5人 (12.8%)	8人 (20.5%)	26人 (12.3%)

A. 研究目的

本研究の目的は大阪の MSM(Men who have sex with men)を対象に、血液検査と連動させた前向きコホートの構築と人年法を活用して HIV 感染症および梅毒の罹患率を推計し、予防啓発の評価尺度を確立することである。

先行研究によれば日本の HIV 感染動向は MSM に限局的に拡大しており、特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発であり、感染リスクの高い集団である。また MSM において梅毒は感染が増加していることも報告されており、MSM 対象の検査会での梅毒有病率は HIV 感染よりも高い。MSM における HIV 感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。初年度は大阪のゲイ向け商業施設を中心としたゲイコミュニティにおいて、血液検査と連動させた前向きコホートを構築することを目的とした。

B. 研究方法

血液検査と連動させたゲイコミュニティコホートの体制構築を目的に、初年度にコホート方法の開発と体制整備を行い、血液検査を継続した。検査会の運営では大阪市保健所や大阪府予防週間実行委員会と、広報や支援団体との連携・研究推進では MASH 大阪と協働した。

1) コホートの構築

本研究では初年度に対象者の個人特定には生体認証の技術(スワイプ式指紋認証システム)を応用したシステムを開発し、今年度もコホート集団の構築を継続した。指紋情報はソフトウェア(OmniPass)を活用し、暗号化した上で ID を番号シールとして発行する。情報の保守性を考慮し、本研究で活用する機器端末は、インターネット接続されない仕組みとした。

2) 連続横断的な無記名自記式質問紙調査の実施

対象集団の属性とゲイコミュニティの中心にあるコミュニティセンターdista 血液検査会のインパクトを把握するために、約1ヶ月間(6月・12月)コミュニティセンターdista 利用者を対象に質問紙調査を実施した。

3) コミュニティセンターにおける血液検査会の実施

個別のID発行後、対象者は大阪市保健所がコミュニティセンターdista で実施する無料匿名のHIV抗体および梅毒抗原・抗体検査を受検した。受検時に研修を受けたNGOスタッフが研究目的と概要を口頭で説明し、同意を得た。なお研究参加への同意が得られない場合でも希望があれば受検できることとした。

血液検査はHIV抗体抗原検査と梅毒抗体検査とし、HIV抗体検査は採血後、スクリーニング検査・確認検査を実施したのち、1週間後に結果を通知した。梅毒抗体検査も1週間後に結果を通知した。結果通知は個別に対面相談できる近隣の会議室を確保し、保健所職員が既存のマニュアルに準じ実施した。受検時に番号シールを血液検査結果と質問紙調査表紙に貼り付け、血液検査結果はIDと連結させ、保健所から分析担当者のみを開示されることとした。

本年度は昨年度に引き続き大阪市保健所との協働で3回実施し、新たに大阪府内の自治体で構成される予防週間実行委員会とも協働し、同様の仕組みで2回実施した。

4) 分析方法

本年度は2017年11月時点での検査会利用者におけるコホート登録者を対象に分析を進めた。また本研究で構築したコホート集団を対象に人年法を用いて、梅毒感染罹患率を推計した。単純集計には、SPSS23を用いた。

(倫理面への配慮)

本研究の実施については名古屋市立大学看護学部倫理委員会の承認を得た。(ID:15014-2 2015年6月23日)また大阪青山大学倫理委員会の承認も得た。(ID:2906 2017年9月27日)

C. 研究結果

1) 無記名自記式質問紙調査による対象層の把握

検査会における対象集団の属性を把握するために、最終年度も継続して質問紙調査を5回実施(2015年6月n=160、2015年12月n=177、2016年6月n=156、2016年12月n=169、2017年6月n=162)した。全体の基本属性は大阪府在住63.1%、24歳以下19.8%、ゲイ83.9%、コミュニティセンターdista新規利用率13.3%、過去6ヶ月間のゲイ向け商業施設利用率74.3%、生涯HIV抗体検査受検率は75.2%であった。

初回の調査回答者(2015年6月、n=160)において、探索的因子分析を行い、因子負荷量を検討した結果、各3項目の4因子を抽出し、STIスティグマ(Cronbach's α =0.77、以下同)、検査に関わる忌避感(0.63)、検査に対する消極的態度(0.43)、検査の利用しにくさ(0.41)と命名した。生涯の検査経験とSTIスティグマ(p =0.03)、検査に関わる忌避感(p =0.01)、検査に対する消極的態度(p =0.03)が有意に関連しており、今後の受検意図とは消極的態度(p <0.01)が関連していた。係数がやや低い因子もあるが再現性はあり、0.6以上の因子では内的整合性は確保できた。

2017年までの5回の調査で経時的に比較したところ検査に対する消極的態度(p =0.03)とのみ関連しており、各回の平均値は5.45、5.62、5.22、5.12、5.43であった。一方でSTIスティグマについて統計的有意差はみられなかった(p =0.42)。

2) コミュニティセンターにおける 血液検査会の実施

検査会は曜日を変えて初年度に4回、2年度目に5回した。最終年度は6回実施した。2017年11月までの結果概要は表1に示す。

3年間の累計で受検者数432人、はじめて本検査会を利用した人のうち指紋登録者割合71.6%、HIV陽性者数11人(2.5%)、梅毒陽性者(要治療)数19人(4.4%)であった。なお、HIV陽性者はHIV抗体抗原検査で、これまで未診断であった人であり、今回新たに感染が判明した人であることを結果告知時に確認している。また、本検査会では梅毒検査を受検せず、HIV抗体検査のみを受検することを希望する人もあり、梅毒陽性割合の算出には梅毒検査を受検した427人を対象とした。梅毒陽性はRPR陽性かつTP抗体陽性の人であり、治療中であることが分かっている場合は除いて集計した。

表1 検査会の実施概要(2017年12月時点)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	累計
受検者数	127人	171人	134人	432人
指紋登録者	78.6%	67.6%	68.8%	71.6%
HIV陽性数 (下段)割合	7人 5.5%	2人 1.2%	2人 1.5%	11人 2.5%
梅毒陽性数 (下段)割合**	5人 4.0%	9人 5.3%	5人 3.7%	19人 4.4%

*HIV陽性は新規判明、梅毒陽性はRPR陽性かつTP抗体陽性。

**梅毒検査を受検した人を母数として算出した。

3年間検査会を継続し、2017年11月時点で登録者237人となった。コホート登録者における属性として、平均年齢は33.8±11.0歳(最少年齢17歳、最高年齢73歳)であり、年齢層別には20代が37.3%と最も多く、次いで30代23.7%、40代19.5%であった。大阪府在住71.2%、ゲイ82.6%、常勤(正規雇用)47.9%であった。また過去6ヶ月間のゲイ向け商業施設利用率は

82.2%であり、コミュニティセンターdistaの初来場者は46.2%であった。生涯の受検経験率は65.7%であり、過去6ヶ月間のアナルセックス経験者(165人、69.9%)のうち、一番最近のアナルセックスにおけるコンドーム使用割合は60.0%であった。

登録時の梅毒抗体陽性割合は7.2%、梅毒抗体抗原新規陽性割合は4.7%、HIV抗体抗原新規陽性割合は4.2%であった。

登録者のうち再受検者は43人(継続率18.1%)であり、本研究で構築したコホートにより、45.5人年(546人月)が追跡できた。このうち追跡中の新たなHIV抗体抗原新規陽性者は0人、梅毒抗体抗原新規陽性者は1人であった。HIV感染罹患率は計算できなかったが、人年法により梅毒感染罹患率は2.20%/年(95%信頼区間:-2.06%~6.46%)であった。

D. 考察

1) コミュニティセンター利用者調査

本研究では検査会における対象集団の属性を把握するために質問紙調査を実施した。コミュニティセンター利用者は過去6ヶ月間のゲイ向け商業施設利用率が74.3%と高く、立地条件を活かしMSMを対象とした予防啓発活動の推進に寄与していることが伺えた。また、HIV抗体検査受検行動に関連する尺度を用いた因子分析の結果から、「検査に対する消極的態度」が平均値5.62から5.12に低下した可能性が示された。コミュニティセンターdistaでの検査会との関連を示すには限界があるものの、2年間で検査に対する消極的態度が一旦低下した可能性が示された。

2) コミュニティセンターでの血液検査会とコホート構築

本研究ではコミュニティセンターdistaでの検査会を通して、日本で初めてとなるゲイコミュニティにおけるコホート集団を構築した。検査会利用者は累計432人となり、大阪府内保

健所の年間 MSM 受検者（約 700 人、2015 年のデータをもとに推定）と比べ、コミュニティセンターでの検査会は訴求力が高く、効果的であったと考える。検査会利用者は、対象集団となるコミュニティセンター利用者の属性と類似しており、HIV 陽性率 2.5%であったことから感染リスクの高い集団であったと言える。

現時点では HIV 感染の推計は困難であったが、梅毒感染の罹患率推計は 2.20%/年（95%信頼区間：-2.06%~6.46%）であった。コホート登録者における再受検率は低いが徐々に増加しており、今後も検査会を継続しデータを蓄積していくことができれば、予防啓発活動の浸透と成果を測る上で、有効な指標となりうると考える。

E. 結論

これまでに指紋登録した 237 人中 43 人の追跡ができ、MSM を対象とした血液検査と連動させた前向きコホート体制は構築できたと考える。登録者は現在も増加しつつあるが再受検者が少ないことが課題である。本検査会は大阪市と MASH 大阪（コミュニティセンター-dista）が協働し、研究としてコホートの仕組みを伴った形で、次年度以降も継続される見込みである。今後もデータを蓄積していくことで意義のある研究成果が得られると考える。

MSM を対象とした血液検査と連動させた前向きコホートの構築は国内で初めてであり、罹患率の推計に十分な数まで規模を拡大することができれば、将来的に新たに展開される予防介入の効果評価を効率的にすすめていく上で重要な基盤となり学術的意義がある。また本研究で実施するゲイコミュニティの中心にあるコミュニティセンターでの性感染症の検査会は、ゲイコミュニティにおいて彼らの生活の一部として検査を身近なものにし、定期的な検査行動の習慣化に寄与することも考えられ、大阪市保健所と協同して開始し、大阪府内の他の自治体からの協力も得られている。今後は事業化

の見通しであり、本研究の成果として社会的な意義も大きいと考える。

本研究では MSM をとりまく社会環境を考慮して、住所や氏名などの個人情報を得ることなくコホートを構築することを目指しており生体認証を採用している。生体認証はモンゴル・中国では MSM 対象の先行研究で活用されており、複数の地域や検査場所で展開し全体像を把握することも可能である。本研究における検査会やコホートの仕組みを活用すれば、大阪地域のみならず、他地域のゲイコミュニティの動向把握につながり、検査機会の拡大や検査行動を促進することが可能である。また大阪地域でも継続することにより、HIV および梅毒における新規罹患率の推定精度が上がるのが期待でき、MSM を対象とした予防啓発活動の評価指標の一つとなる。

国内では保健所における検査体制が整備されているが、当事者と協働したゲイコミュニティでの検査会から得られる知見は、保健所を利用しにくい地方地域に住む MSM やセックスワーカーや外国籍等のハイリスク層の集まる場所でも応用可能であり、個別施策層を対象にした取り組みとして展開していくことが可能である。

F. 健康危険情報

なし。

G. 研究発表

研究代表者
塩野徳史

和文

- 1) 市川誠一, 塩野徳史, 金子典代, 本間隆之, 岩橋恒太. MSM における HIV 感染予防とコミュニティセンターの役割. 化学療法の領域. Vol. 32(5):1029-1038, 2016.

- 2) 金子典代, 塩野徳史, 内海眞, 山本政
弘, 健山政男, 鬼塚哲郎, 伊藤俊広, 市
川誠一. 成人男性の HIV 検査受検, 知
識, HIV 関連情報入手状況, HIV 陽性者の
身近さの実態-2009 年調査と 2012 年調査
の比較-. 日本エイズ学会誌, 19 (1), 16-
23, 2017.
- なし。
3. その他
なし。

口頭発表

国内

- 1) 塩野徳史. ゲイコミュニティにおける HIV 抗体検査 『これまで』と『これから』「シンポジウム 3 HIV 将来予測と流行阻止」第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、2017 年、東京.
- 2) 塩野徳史. HIV 検査の受検阻害要因としてのスティグマ. シンポジウム 4 「スティグマの払拭は誰が担うのか」第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、2017 年、東京.
- 3) 塩野徳史, 後藤大輔, 町登志雄, 宮田りりい, 大畑泰次郎, 伴仲昭彦, 鬼塚哲郎, 市川誠一. 商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価. 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、2017 年、東京.
- 4) 宮田りりい, 塩野徳史, 後藤大輔, 町登志雄, 大畑泰次郎, 市川誠一. MSM における性交相手との出会いの場所と方法 - 年齢層による差異について -. 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会、2017 年、東京.

H. 知的所有権の出願・

取得状況 (予定を含む)

1. 特許取得状況
なし。
2. 実用新案登録

1 . コミュニティセンター利用者調査の結果

研究代表者：塩野徳史（大阪青山大学/MASH 大阪）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、宮田りりい(公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪)

大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH 大阪）

鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

研究要旨

目的と方法：

コミュニティセンターdista で血液検査と連動させた HIV 抗体検査会を実施するにあたり、その対象となる集団の属性を把握することを目的として、検査会の前後約 1 ヶ月間、連続横断的な無記名自記式質問紙調査を実施した。また本検査会がゲイコミュニティに与えるインパクトを把握するために、検査と性感染症に関する規範のフォローアップデータを得ることも目的とした。

結果：

1 回目 (有効回収率 80.2%)の利用者属性はゲイ 82.1%、大阪府在住 66.7%、平均年齢 33.3±9.2 歳 (最少年齢 19 歳、最高年齢 73 歳) dista 初来場者 11.7%、過去 6 カ月間のゲイ向け商業施設利用割合は 74.1%であった。HIV 抗体検査未受検者割合は 18.5%、HIV 感染既往 6.2%、梅毒既往 6.2%であった。

2 回目 (有効回収率 80.2%)の利用者属性はゲイ 84.3%、大阪府在住 61.4%、平均年齢 35.3±10.5 歳 (最少年齢 17 歳、最高年齢 73 歳) dista 初来場者 12.4%、過去 6 カ月間のゲイ向け商業施設利用割合は 75.2%であった。HIV 抗体検査未受検者割合は 17.1%、HIV 感染既往 8.1%、梅毒既往 8.1%であった。

考察：

利用者属性としては大阪府在住者が多く、ゲイ向け商業施設利用者割合が高いことが特徴的であり、特に有料ハッテン場利用は 33.6%(昨年度 33.2%)と高い割合で持続している。これはゲイ向け商業施設に近いコミュニティセンターの性質として感染リスクの高い層を活動に巻き込んでいる可能性として重要である。また年齢層別に 25-34 歳で検査行動が高く特に過去 1 年間の受検割合が高いことから dista 検査会の影響が示唆された。

A. 研究目的

大阪地域の MSM における感染動向は厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、大阪を含む近畿地域の 2014 年新規 HIV 感染者数は、男性同性間性的接触によるものが 147 人で 2013 年 (161 人) に比べやや減少傾向を示している。しかし新規 AIDS 患者数は 49 人であり、2013 年(49 人)と同数である。先行研究で報告されている近畿地域の MSM 割合を用いた罹患率では、HIV 罹患率が 43.1(2012 年)、58.3(2013 年)、53.3(2014 年)であり、AIDS 罹患率は 15.6(2012 年)、17.8(2013 年)、17.8(2014 年)であり減少したとは言えない。

MSM 出生年代別にみた先行研究では AIDS 罹患率の推移は 1950 年代生まれ以外のいずれの年代でも増加傾向であった。近年では 1970 年代生まれや 1980 年代生まれでは感染拡大傾向は抑制されつつあるものの、出生年代層が若い群の方がより高く相対的に MSM 集団における感染拡大が示唆されている。

特にゲイ向け商業施設利用者はリスクの高い集団であると考えられ、過去 6 ヶ月間のコンドーム使用状況や性感染症の既往が非利用群に比べ利用群で高く、リスク状況が依然持続している可能性があることも示されている。これを背景にゲイ向け商業施設の中心にコミュニティセンターdistaは設置されているが、dista 利用者の属性を把握した研究は少ない。本研究でコミュニティセンターdistaでの HIV 抗体検査会を実施するにあたっては、その対象となる集団の属性を把握する必要がある。またコミュニティセンターでの検査会が、MSM コミュニティに与えるインパクトを把握するためにはベースラインが必要である。そのため、連続横断的な無記名自記式質問紙調査を実施した。本報告では dista 利用者の属性および、彼らの検査に対する規範を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

1) 調査方法

対象集団の属性とゲイコミュニティの中心にあるコミュニティセンターdistaで実施する血液検査会のインパクトを把握するために、血液検査会の前後に約 1 ヶ月間(6 月・12 月)コミュニティセンターdista利用者を対象に質問紙調査を実施した。本研究の趣旨を事前に研修を受けた NGO スタッフが書面をもとに口頭で説明し、協力同意の得られた人を対象に回答を依頼した。回答後には、回答者自身がシールで封緘を行い、回答内容をスタッフがみることなく設置された回収箱に投函する仕組みとした。回答協力者には QUO カード 500 円相当を協力謝礼として提供した。

質問項目は、昨年度先行研究をもとに作成した基本属性(性別、居住地、居住携帯、職業、セクシュアリティ)、過去 6 ヶ月間の利用施設など、検査行動、一番最近の性行動、性感染症既往歴、dista の利用経験とした。質問項目の作成にあたっては、当事者参加型の MASH 大阪オープンミーティングで検討の機会をもち、修正を行った。HIV 抗体検査や性感染症に関する規範については、先行研究で検査行動と関連が報告されている項目を抜粋し、昨年度と同様の 20 項目とした。

1 回目の調査は平成 29 年 6 月 1 日から 6 月 30 日までの休館日を除く 25 日間、2 回目の調査は平成 29 年 12 月 1 日から 12 月 31 日までの休館日を除く 26 日間配布した。

2) 分析方法

得られた回答のうち、重複する回答を除き、基本属性や規範など主要な項目に無回答であった回答を除き有効回答とした。

コミュニティセンターdista利用者を把握する目的で 6 月と 12 月の回答集団を比較し、集団の経時的な特性の差異を明らかにした。

次に年齢を 24 歳以下、25 歳-34 歳、35 歳以上の 3 区分の年齢層に分類し、6 月、12 月の有効回答者について年齢層別に分析した。

質問項目は、年齢層、性別、居住形態、職業、セクシュアリティなどの基本属性と、過去 6 ヶ月間の商業施設などの利用状況、性感染症既往歴、性行動、検査行動、コミュニティセンター dista の利用状況、検査と性感染症に関する規範である。

データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 23 を用いた。統計的有意水準は 5% 未満とした。

なお、本調査は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得ている。(ID 番号 15014-2 2015 年 6 月 23 日) また大阪青山大学倫理委員会の承認も得た。(ID:2906 2017 年 9 月 27 日)

C. 研究結果

利用者の特性を明らかにするために、コミュニティセンター dista で質問紙調査を実施した。概要を付表 1 に示した。1 回目の調査は総利用者 509 人のうち再利用を除く 202 人に配布し 162 人の有効回答を得た(有効回収率 80.2%)。2 回目の調査は総利用者 663 人のうち再利用を除く 262 人に配布し 210 人の有効回答を得た(有効回収率 80.2%)。

1) コミュニティセンター dista 利用者の把握

1 回目(6 月)と 2 回目(12 月)の回答集団について比較した結果を表 1-1 から表 1-5 に示した。

性別は男性割合が多く 1 回目 89.5%、2 回目 93.3%であった。「その他」の中ではトランスジェンダーと回答した人が大半を占めており 1 回目 1.2%、2 回目 1.9%であった。性的指向では「ゲイ」と回答する人が最も多く 1 回目 82.1%、2 回目 84.3%であり、次いで「ヘテロシユアル」が 1 回目 6.2%、2 回目 6.2%であった。次いで

「ヘテロセクシユアル」と回答する人であり、1 回目 4.3%、2 回目 5.2%であった。

居住地は大阪府が最も多く(1 回目 66.7%、2 回目 61.4%、以下同順)次いで兵庫県(16.7%、16.2%) 京都府(6.2%、5.7%) 奈良県(2.5%、2.9%)の順であった。性別・性的指向・居住地について有意差はみられなかった。

平均年齢は 1 回目が 33.3 ± 9.2 歳(最少年齢 19 歳、最高年齢 73 歳)であり、2 回目は 35.3 ± 10.5 歳(最少年齢 17 歳、最高年齢 73 歳)であった。年齢層割合は有意差がみられ($p=0.05$) 2 回目は 1 回目比べて、24 歳以下の層が高く(17.3%、9.5%) 35 歳以上の層の割合は低かった(33.3%、41.9%)。

その他の属性としては一人暮らしの割合が全体で 54.8%(56.8%、53.3%) 親や兄弟・姉妹と同居が全体で 32.3%(30.2%、33.8%)であった。職業としては常勤(正規雇用)が最も多く全体で 51.1%(48.8%、52.9%)であった。いずれも有意差はみられなかった。

過去 6 ヶ月間の利用施設についてゲイ向け商業施設としてはゲイバー利用が全体で 61.6%(63.6%、60.0%)、ゲイナイト利用が全体で 25.8%(24.1%、27.8%)、ゲイショップ利用が全体で 23.9%(22.2%、25.2%)、有料のハッテン場利用が全体で 33.6%(36.4%、31.4%)であった。4 つの施設のうちいずれか利用した割合は全体で 74.7%(74.1%、75.2%)であった。

その他、ゲイ向けアプリ利用は全体で 57.0%(54.9%、58.6%) 携帯の出会い系サイト利用が全体で 11.3%(14.8%、8.6%) 野外のハッテン場利用が全体で 5.9%(8.0%、4.3%) ハッテン場で有名な公共施設利用が全体で 15.3%(11.7%、18.1%)であった。

コミュニティセンター dista を初めて利用した割合は 1 回目 11.7%、2 回目 12.4%であり、過去 6 ヶ月より以前に訪れた割合は 1 回目 13.6%、2 回目 20.5%で有意差はみられなかった($p=0.20$)。

これまでに dista で性感染症やエイズの情報を得たことがあるのは全体で 79.0% (1 回目 80.9%、2 回目 78.6%) であり、スタッフから聞いたと回答する人が多かった (全体で 54.3%、1 回目 56.8%、2 回目 52.4%)。初来場者を除くと、スタッフから性感染症やエイズの情報を得た人の割合は 1 回目 63.6%、2 回目 59.8% であった。また、これまでに dista で悩みや不安について相談したことがあるのは全体で 34.7% (34.6%、34.8%) であり、スタッフに相談したと回答する人が多かった (全体で 24.2%、1 回目 27.2%、2 回目 21.9%)。初来場者を除くと、スタッフに相談した人の割合は 1 回目 30.8%、2 回目 25.0% であった。コミュニティセンター dista を利用する中で、友達に相談した割合がスタッフに次いで高く 1 回目 11.7%、2 回目 13.3% であった。また他の利用者に相談した割合は 1 回目 8.6%、2 回目 9.5% であった。

HIV 抗体検査について生涯受検経験のあるものは全体で 81.7% (1 回目 80.2%、2 回目 82.9%) であり、過去 1 年間の受検割合では全体で 47.6% (1 回目 43.2%、2 回目 50.9%) であった。dista での検査会については認知割合が全体で 62.7% と昨年度の 56.1% から増加し、利用割合も 15.9% (昨年度 14.0%) と増加していた。

性感染症既往については、梅毒が全体で 7.3% (1 回目 6.2%、2 回目 8.1%)、B 型肝炎が全体で 7.8% (1 回目 6.8%、2 回目 8.6%)、HIV 感染症が全体で 7.3% (1 回目 6.2%、2 回目 8.1%) で、いずれも有意差はみられなかった。

2) 年齢層別分析

年齢層別に分析した結果を表 2-1 から表 2-5 (1 回目)、表 3-1 から表 3-5 (2 回目) に示した。

職業について 1 回目・2 回目ともに、24 歳以下は学生割合が高く (39.3%、40.0%) であり、25-34 歳は常勤割合 (50.0%、56.9%)、35 歳以上も常勤割合 (46.3%、50.0%) が高かった。

過去 6 ヶ月間の利用施設についてゲイバーでは有意差がみられ、1 回目は 25-34 歳層で最も高く 73.8% ($p=0.04$)、2 回目でも 25-34 歳層で最も高く 68.6% ($p=0.16$) であったが有意差はみられなかった。またゲイ向けアプリ利用は 1 回目は 35 歳層以上で最も低く 37.0% ($p=0.01$)、2 回目も 35 歳層以上で最も低く 46.6% ($p=0.05$) であった。ゲイナイト利用は 1 回目が 14.8% ~ 31.3% ($p=0.15$)、2 回目が 15.9% ~ 38.2% ($p=0.01$) であった。また有料のハッテン場については有意差がみられず、1 回目が 28.6% ~ 40.0%、2 回目が 25.0% ~ 35.3% であった。

年齢層別に HIV 抗体検査の受検経験の割合は、1 回目では 25-34 歳層が最も高く 85.0% ($p=0.14$)、2 回目も 25-34 歳層が最も高く 87.3% ($p=0.01$) であった。一方いずれの回も 24 歳以下では最も低く 1 回目 64.3%、2 回目 60.0% であった。過去 1 年間の受検経験をみても、25-34 歳層が最も高く 1 回目 45.1%、2 回目 54.9% であった。

年齢層別に性感染症の既往について 24 歳以下に比べて 25-34 歳、35 歳以上では既往割合は高かった。MSM では梅毒、B 型肝炎、A 型肝炎、HIV 感染症の流行が指摘されているが、利用者における梅毒既往割合は 24 歳以下で 0.0% (1 回目) 0.0% (2 回目) であり、25-34 歳で 5.0% (1 回目) 9.8% (2 回目)、35 歳以上で 11.1% (1 回目) 8.0% (2 回目) であった。HIV 感染症既往割合は 24 歳以下で 0.0% (1 回目) 0.0% (2 回目) であり、25-34 歳で 7.5% (1 回目) 7.8% (2 回目)、35 歳以上で 7.4% (1 回目) 10.2% (2 回目) であった。

D. 考察

1 コミュニティセンター dista 利用者

本研究では 6 月と 12 月に利用者を対象とした質問紙調査を実施し、経時的な差異について分析した。2 回の調査結果は性的指向、居住地、居住形態、職業、受検行動、性行動において有意差はみられず、ほぼ類似していた。今年度 10

月にコミュニティセンターdistaは近くの場所に移転したが、連続横断調査の対象集団として考察することが可能であると考えられる。一方で満足度の結果では、場所の広さに関する満足度が上昇しており、「とても良い」と回答する割合が20.4%（1回目）から57.1%（2回目）に上昇していた。

利用者属性としては昨年度と同様に大阪府在住者が多く、ゲイ向け商業施設利用者割合が高いことが特徴的であり、特に有料ハッテン場利用は33.6%（昨年度33.2%）と高い割合で持続している。これはゲイ向け商業施設に近いコミュニティセンターの性質として感染リスクの高い層を活動に巻き込んでいる可能性として重要である。

また、コミュニティセンターの目的の1つにHIV感染症や性感染症の予防情報の啓発普及があるが、コミュニティセンターで情報を得た経験は80.9%（6月）、78.6%（12月）であり極めて高かった。スタッフから情報を得ている場合が最も多いが、他の利用者（13.0%～13.3%）や

友達（10.5%～11.4%）から得ている場合もあり、昨年度に引き続きオープンスペースを運営することで有機的なネットワークが構築されている可能性を示している。

2 年齢層別の動向

昨年度と同様に先行研究の結果と居住地や商業施設利用、性感染症既往歴の傾向は類似しており、dista利用者は商業施設利用者でもある可能性が示され再現性を確認した。このことは移転後も著変ないことが示された。一方で、いずれの年齢でも過去の先行研究に比べて検査行動については高く、特に過去1年間の受検割合が高いことから、本研究におけるdistaでの検査会の影響を考えることができる。

E. 結論

本研究では、コミュニティセンター利用者の属性を明らかにし、検査会の対象層を把握した。

表 1-1 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 属性

	2017年						合計 n=372	Pearsonの カイ2乗
	1回目(6月)		2回目(12月)					
		n=162		n=210				
あなたの性別は?								
男性	145	89.5%	196	93.3%	341	91.7%	0.21	
女性	15	9.3%	10	4.8%	25	6.7%		
その他	2	1.2%	4	1.9%	6	1.6%		
居住地								
大阪府	108	66.7%	129	61.4%	237	63.7%	0.65	
兵庫県	27	16.7%	34	16.2%	61	16.4%		
京都府	10	6.2%	12	5.7%	22	5.9%		
奈良県	4	2.5%	6	2.9%	10	2.7%		
滋賀県	2	1.2%	2	1.0%	4	1.1%		
和歌山県	1	.6%	1	.5%	2	.5%		
その他	10	6.2%	26	12.4%	36	9.7%		
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか?(複数回答)								
一人暮らし	92	56.8%	112	53.3%	204	54.8%	0.51	
親や兄弟・姉妹と同居	49	30.2%	71	33.8%	120	32.3%	0.47	
同性のパートナーと同居	8	4.9%	7	3.3%	15	4.0%	0.44	
同性の友達と同居	3	1.9%	8	3.8%	11	3.0%	0.27	
異性のパートナーと同居	4	2.5%	7	3.3%	11	3.0%	0.63	
異性の友達と同居	3	1.9%	0	0.0%	3	.8%	0.05	
その他	4	2.5%	5	2.4%	9	2.4%	0.96	
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか?								
常勤(正規雇用)	79	48.8%	111	52.9%	190	51.1%	0.42	
常勤(非正規雇用)	28	17.3%	20	9.5%	48	12.9%		
パートタイマー	6	3.7%	9	4.3%	15	4.0%		
アルバイト	10	6.2%	16	7.6%	26	7.0%		
経営者	10	6.2%	13	6.2%	23	6.2%		
学生	17	10.5%	19	9.0%	36	9.7%		
その他	12	7.4%	22	10.5%	34	9.1%		

表 1-2 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 性的指向及び利用施設

	2017年				合計		Pearsonの カイ ² 乗
	1回目(6月)		2回目(12月)		n=372		
	n=162		n=210				
あなたは以下のどれにあてはまりますか?							
ゲイ	133	82.1%	177	84.3%	310	83.3%	0.38
バイセクシュアル	7	4.3%	11	5.2%	18	4.8%	
ヘテロセクシュアル	10	6.2%	13	6.2%	23	6.2%	
わからない	6	3.7%	4	1.9%	10	2.7%	
決めたくない	3	1.9%	5	2.4%	8	2.2%	
その他	3	1.9%	0	0.0%	3	.8%	
過去6ヵ月間の商業施設利用(複数回答)							
過去6ヵ月間の商業施設利用(再掲)	120	74.1%	158	75.2%	278	74.7%	0.80
ゲイバー	103	63.6%	126	60.0%	229	61.6%	0.75
ゲイナイト	39	24.1%	57	27.1%	96	25.8%	0.74
ゲイショップ	36	22.2%	53	25.2%	89	23.9%	0.74
ゲイ向けサークル	33	20.4%	48	22.9%	81	21.8%	0.79
ゲイ向け合コン	3	1.9%	3	1.4%	6	1.6%	0.89
mixiなどのSNS	74	45.7%	120	57.1%	194	52.2%	0.08
PC出会い系サイト	19	11.7%	14	6.7%	33	8.9%	0.22
携帯出会い系サイト	24	14.8%	18	8.6%	42	11.3%	0.16
エロ系SNS	6	3.7%	8	3.8%	14	3.8%	0.94
ゲイ向けアプリ	89	54.9%	123	58.6%	212	57.0%	0.71
ゲイの乱バ	4	2.5%	0	0.0%	4	1.1%	0.07
有料のハッテン場	59	36.4%	66	31.4%	125	33.6%	0.57
野外のハッテン場	13	8.0%	9	4.3%	22	5.9%	0.30
ハッテン場で有名な公共施設	19	11.7%	38	18.1%	57	15.3%	0.22

表 1-3 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 dista 利用経験

	2017年				合計		Pearson の カイ 2乗
	1回目 (6月)		2回目 (12月)		n=372		
	n=162		n=210				
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか?							
過去6ヵ月以内に訪れた	121	74.7%	141	67.1%	262	70.4%	0.20
過去6ヵ月より以前に訪れた	22	13.6%	43	20.5%	65	17.5%	
訪れたことはない(はじめて訪れた)	19	11.7%	26	12.4%	45	12.1%	
これまでにdista(ディスタ)で性感染症やエイズの情報を得たことはありますか?(複数回答)							
スタッフから聞いたことがある	92	56.8%	110	52.4%	202	54.3%	0.34
利用者から聞いたことがある	21	13.0%	28	13.3%	49	13.2%	0.52
友達から聞いたことがある	17	10.5%	24	11.4%	41	11.0%	0.50
雑誌やネットで見たことがある	43	26.5%	58	27.6%	101	27.2%	0.51
全くない	31	19.1%	47	22.4%	78	21.0%	0.40
これまでにdista(ディスタ)で悩みや不安について相談したことはありますか?(複数回答)							
スタッフに相談したことがある	44	27.2%	46	21.9%	90	24.2%	0.31
利用者に相談したことがある	14	8.6%	20	9.5%	34	9.1%	0.53
友達同士で相談したことがある	19	11.7%	28	13.3%	47	12.6%	0.50
全くない	106	65.4%	137	65.2%	243	65.3%	0.56
distaの満足度についておうかがいします。この場所はわかりやすさは?							
とても良い	30	18.5%	40	19.0%	70	18.8%	0.17
やや良い	74	45.7%	97	46.2%	171	46.0%	
やや悪い	50	30.9%	70	33.3%	120	32.3%	
とても悪い	8	4.9%	2	1.0%	10	2.7%	
無回答	0	0.0%	1	.5%	1	.3%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の広さは?							
とても良い	33	20.4%	120	57.1%	153	41.1%	0.00
やや良い	78	48.1%	84	40.0%	162	43.5%	
やや悪い	47	29.0%	4	1.9%	51	13.7%	
とても悪い	4	2.5%	1	.5%	5	1.3%	
無回答	0	0.0%	1	.5%	1	.3%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の使いやすさは?							
とても良い	65	40.1%	102	48.6%	167	44.9%	0.18
やや良い	90	55.6%	102	48.6%	192	51.6%	
やや悪い	6	3.7%	4	1.9%	10	2.7%	
とても悪い	1	.6%	0	0.0%	1	.3%	
無回答	0	0.0%	2	1.0%	2	.5%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の居心地は?							
とても良い	80	49.4%	118	56.2%	198	53.2%	0.30
やや良い	76	46.9%	87	41.4%	163	43.8%	
やや悪い	4	2.5%	4	1.9%	8	2.2%	
とても悪い	2	1.2%	0	0.0%	2	.5%	
無回答	0	0.0%	1	.5%	1	.3%	

表 1-4 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 検査行動

	2017年				合計		Pearsonの カイ ² 乗
	1回目(6月)		2回目(12月)		n=372		
	n=162		n=210				
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか?							
ある	130	80.2%	174	82.9%	304	81.7%	0.25
ない	30	18.5%	36	17.1%	66	17.7%	
無回答	2	1.2%	0	0.0%	2	.5%	
これまで何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?							
1回だけ	30	18.5%	32	15.2%	62	16.7%	0.88
2回	21	13.0%	29	13.8%	50	13.4%	
3回	14	8.6%	20	9.5%	34	9.1%	
4回以上	61	37.7%	85	40.5%	146	39.2%	
未受検	32	19.8%	36	17.1%	68	18.3%	
無回答	4	2.5%	8	3.8%	12	3.2%	
一番最近にHIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?							
過去6ヵ月間の間	43	26.5%	66	31.4%	109	29.3%	0.38
過去6ヵ月以上前～過去1年の間	27	16.7%	41	19.5%	68	18.3%	
過去1年以上前～過去3年の間	32	19.8%	36	17.1%	68	18.3%	
過去3年以上前	25	15.4%	22	10.5%	47	12.6%	
未受検	32	19.8%	36	17.1%	68	18.3%	
無回答	3	1.9%	9	4.3%	12	3.2%	
あなたは今後どのくらいの頻度でHIV検査を受けようと思いますか?							
3ヶ月間に1回くらい	15	9.3%	26	12.4%	41	11.0%	0.19
6ヶ月間に1回くらい	32	19.8%	44	21.0%	76	20.4%	
1年間に1回くらい	26	16.0%	53	25.2%	79	21.2%	
新しい彼氏や恋人ができたり、できそうなときに受ける	19	11.7%	18	8.6%	37	9.9%	
特に決めていない	58	35.8%	60	28.6%	118	31.7%	
受けるつもりはない	10	6.2%	8	3.8%	18	4.8%	
無回答	2	1.2%	1	.5%	3	.8%	

表 1-5 コミュニティセンターdista 利用者の経時的比較 性行動

	2017年				合計 n=372	Pearsonの カイ2乗	
	1回目(6月) n=162		2回目(12月) n=210				
これまで男性とアナルセックスをしたことがありますか?							
ある	131	80.9%	176	83.8%	307	82.5%	0.43
ない	30	18.5%	34	16.2%	64	17.2%	
無回答	1	.6%	0	0.0%	1	.3%	
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか?							
現在～過去6ヵ月間の間	79	48.8%	114	54.3%	193	51.9%	0.73
過去6ヵ月間～過去1年間の間	14	8.6%	15	7.1%	29	7.8%	
1年以上前	29	17.9%	40	19.0%	69	18.5%	
覚えていない	5	3.1%	5	2.4%	10	2.7%	
生涯なし	31	19.1%	34	16.2%	65	17.5%	
無回答	4	2.5%	2	1.0%	6	1.6%	
一番最近にアナルセックスした相手はどれにあてはまりますか?							
彼氏や恋人	37	22.8%	51	24.3%	88	23.7%	0.72
友達やセクフレ	46	28.4%	60	28.6%	106	28.5%	
その場限りの相手	41	25.3%	61	29.0%	102	27.4%	
その他	3	1.9%	2	1.0%	5	1.3%	
生涯なし	31	19.1%	34	16.2%	65	17.5%	
無回答	4	2.5%	2	1.0%	6	1.6%	
一番最近にアナルセックスした時、コンドームを使いましたか?							
使った	86	53.1%	113	53.8%	199	53.5%	0.88
使わなかった	32	19.8%	48	22.9%	80	21.5%	
覚えていない	8	4.9%	8	3.8%	16	4.3%	
生涯なし	31	19.1%	34	16.2%	65	17.5%	
無回答	5	3.1%	7	3.3%	12	3.2%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(複数回答)							
梅毒	10	6.2%	17	8.1%	27	7.3%	0.47
A型肝炎	2	1.2%	1	.5%	3	.8%	
B型肝炎	11	6.8%	18	8.6%	29	7.8%	0.49
C型肝炎	1	.6%	3	1.4%	4	1.1%	
クラミジア	12	7.4%	21	10.0%	33	8.9%	0.40
尖圭コンジローマ	7	4.3%	12	5.7%	19	5.1%	
淋病	9	5.6%	12	5.7%	21	5.6%	0.63
HIV感染症	10	6.2%	17	8.1%	27	7.3%	
赤痢アメーバ	2	1.2%	3	1.4%	5	1.3%	0.63
毛じらみ	43	26.5%	48	22.9%	91	24.5%	
性器ヘルペス	1	.6%	1	.5%	2	.5%	0.63
その他	2	1.2%	3	1.4%	5	1.3%	
いずれもない	84	51.9%	103	49.0%	187	50.3%	0.62
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(再掲)							
いずれかあり	67	41.4%	107	51.0%	174	46.8%	0.07
いずれもない	95	58.6%	103	49.0%	198	53.2%	

表 2-1 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 属性

	年齢層						合計 n=162	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=28		25-34歳 n=80		35歳以上 n=54				
あなたの性別は?									
男性	26	92.9%	73	91.3%	46	85.2%	145	89.5%	0.36
女性	1	3.6%	7	8.8%	7	13.0%	15	9.3%	
その他	1	3.6%	0	0.0%	1	1.9%	2	1.2%	
居住地									
大阪府	20	71.4%	52	65.0%	36	66.7%	108	66.7%	0.32
兵庫県	2	7.1%	15	18.8%	10	18.5%	27	16.7%	
京都府	2	7.1%	6	7.5%	2	3.7%	10	6.2%	
奈良県	0	0.0%	3	3.8%	1	1.9%	4	2.5%	
滋賀県	0	0.0%	0	0.0%	2	3.7%	2	1.2%	
和歌山県	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	1	.6%	
その他	4	14.3%	4	5.0%	2	3.7%	10	6.2%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか?(複数回答)									
一人暮らし	14	50.0%	49	61.3%	29	53.7%	92	56.8%	0.50
親や兄弟・姉妹と同居	11	39.3%	22	27.5%	16	29.6%	49	30.2%	
同性のパートナーと同居	0	0.0%	5	6.3%	3	5.6%	8	4.9%	0.41
同性の友達と同居	1	3.6%	2	2.5%	0	0.0%	3	1.9%	
異性のパートナーと同居	0	0.0%	1	1.3%	3	5.6%	4	2.5%	0.19
異性の友達と同居	1	3.6%	0	0.0%	2	3.7%	3	1.9%	
その他	1	3.6%	1	1.3%	2	3.7%	4	2.5%	0.61
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか?									
常勤(正規雇用)	14	50.0%	40	50.0%	25	46.3%	79	48.8%	0.00
常勤(非正規雇用)	0	0.0%	20	25.0%	8	14.8%	28	17.3%	
パートタイマー	0	0.0%	3	3.8%	3	5.6%	6	3.7%	
アルバイト	2	7.1%	6	7.5%	2	3.7%	10	6.2%	
経営者	0	0.0%	4	5.0%	6	11.1%	10	6.2%	
学生	11	39.3%	5	6.3%	1	1.9%	17	10.5%	
その他	1	3.6%	2	2.5%	9	16.7%	12	7.4%	
あなたは以下のどれにあてはまりますか?									
ゲイ	22	78.6%	68	85.0%	43	79.6%	133	82.1%	
バイセクシュアル	1	3.6%	3	3.8%	3	5.6%	7	4.3%	
ヘテロセクシュアル	3	10.7%	4	5.0%	3	5.6%	10	6.2%	
わからない	1	3.6%	3	3.8%	2	3.7%	6	3.7%	
決めたくない	1	3.6%	1	1.3%	1	1.9%	3	1.9%	
その他	0	0.0%	1	1.3%	2	3.7%	3	1.9%	

表 2-2 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 過去6ヵ月間の施設利用経験

	年齢層						合計 n=162	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=28		25-34歳 n=80		35歳以上 n=54				
過去6ヵ月間の商業施設利用(複数回答)									
過去6ヵ月間の商業施設利用(再掲)	17	60.7%	66	82.5%	37	68.5%	120	74.1%	0.04
ゲイバー	14	50.0%	59	73.8%	30	55.6%	103	63.6%	0.06
ゲイナイト	6	21.4%	25	31.3%	8	14.8%	39	24.1%	0.15
ゲイショップ	6	21.4%	19	23.8%	11	20.4%	36	22.2%	0.70
ゲイ向けサークル	2	7.1%	22	27.5%	9	16.7%	33	20.4%	0.09
ゲイ向け合コン	0	0.0%	1	1.3%	2	3.7%	3	1.9%	0.44
mixiなどのSNS	13	46.4%	43	53.8%	18	33.3%	74	45.7%	0.14
PC出会い系サイト	2	7.1%	11	13.8%	6	11.1%	19	11.7%	0.57
携帯出会い系サイト	2	7.1%	14	17.5%	8	14.8%	24	14.8%	0.44
エロ系SNS	2	7.1%	3	3.8%	1	1.9%	6	3.7%	0.49
ゲイ向けアプリ	15	53.6%	54	67.5%	20	37.0%	89	54.9%	0.01
ゲイの乱パ	1	3.6%	3	3.8%	0	0.0%	4	2.5%	0.40
有料のハッテン場	8	28.6%	32	40.0%	19	35.2%	59	36.4%	0.52
野外のハッテン場	1	3.6%	7	8.8%	5	9.3%	13	8.0%	0.56
ハッテン場で有名な公共施設	3	10.7%	13	16.3%	3	5.6%	19	11.7%	0.24

表 2-3 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 性感染症既往

	年齢層						合計 n=162	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=28		25-34歳 n=80		35歳以上 n=54				
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(複数回答)									
梅毒	0	0.0%	4	5.0%	6	11.1%	10	6.2%	0.13
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	2	3.7%	2	1.2%	0.13
B型肝炎	0	0.0%	4	5.0%	7	13.0%	11	6.8%	0.08
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	1	.6%	0.27
クラミジア	2	7.1%	5	6.3%	5	9.3%	12	7.4%	0.47
尖圭コンジローマ	0	0.0%	5	6.3%	2	3.7%	7	4.3%	0.26
淋病	1	3.6%	3	3.8%	5	9.3%	9	5.6%	0.28
HIV感染症	0	0.0%	6	7.5%	4	7.4%	10	6.2%	0.26
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	2	3.7%	2	1.2%	0.13
毛じらみ	1	3.6%	23	28.8%	19	35.2%	43	26.5%	0.02
性器ヘルペス	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	1	.6%	0.27
その他	0	0.0%	1	1.3%	1	1.9%	2	1.2%	0.45
いずれもない	22	78.6%	38	47.5%	24	44.4%	84	51.9%	0.00
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(再掲)									
いずれもあり	3	10.7%	35	43.8%	29	53.7%	67	41.4%	0.00
いずれもない	25	89.3%	45	56.3%	25	46.3%	95	58.6%	

表 2-4 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 検査行動

	年齢層						合計 n=162	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=28		25-34歳 n=80		35歳以上 n=54				
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか?									
ある	18	64.3%	68	85.0%	44	81.5%	130	80.2%	0.14
ない	9	32.1%	12	15.0%	9	16.7%	30	18.5%	
無回答	1	3.6%	0	0.0%	1	1.9%	2	1.2%	
これまで何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?									
1回だけ	8	28.6%	11	13.8%	11	20.4%	30	18.5%	0.02
2回	4	14.3%	14	17.5%	3	5.6%	21	13.0%	
3回	2	7.1%	5	6.3%	7	13.0%	14	8.6%	
4回以上	3	10.7%	35	43.8%	23	42.6%	61	37.7%	
未受検	10	35.7%	12	15.0%	10	18.5%	32	19.8%	
無回答	1	3.6%	3	3.8%	0	0.0%	4	2.5%	
一番最近にHIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?									
過去6ヵ月間の間	8	28.6%	21	26.3%	14	25.9%	43	26.5%	0.16
過去6ヵ月以上前～過去1年の間	4	14.3%	15	18.8%	8	14.8%	27	16.7%	
過去1年以上前～過去3年の間	5	17.9%	18	22.5%	9	16.7%	32	19.8%	
過去3年以上前	0	0.0%	12	15.0%	13	24.1%	25	15.4%	
未受検	10	35.7%	12	15.0%	10	18.5%	32	19.8%	
無回答	1	3.6%	2	2.5%	0	0.0%	3	1.9%	
あなたは今後どのくらいの頻度でHIV検査を受けようと思いますか?									
3ヶ月間に1回くらい	2	7.1%	9	11.3%	4	7.4%	15	9.3%	0.29
6ヶ月間に1回くらい	6	21.4%	17	21.3%	9	16.7%	32	19.8%	
1年間に1回くらい	3	10.7%	19	23.8%	4	7.4%	26	16.0%	
新しい彼氏や恋人ができたり、できそうときに受ける	4	14.3%	10	12.5%	5	9.3%	19	11.7%	
特に決めていない	11	39.3%	20	25.0%	27	50.0%	58	35.8%	
受けるつもりはない	2	7.1%	4	5.0%	4	7.4%	10	6.2%	
無回答	0	0.0%	1	1.3%	1	1.9%	2	1.2%	

表 2-5 コミュニティセンターdista 利用者(6月)年齢層別分析 dista 利用経験

	年齢層						合計 n=162	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=28		25-34歳 n=80		35歳以上 n=54				
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか?									
過去6ヵ月以内に訪れた	16	57.1%	65	81.3%	40	74.1%	121	74.7%	0.03
過去6ヵ月より以前に訪れた	4	14.3%	9	11.3%	9	16.7%	22	13.6%	
訪れたことはない(はじめて訪れた)	8	28.6%	6	7.5%	5	9.3%	19	11.7%	
これまでにdista(ディスタ)で性感染症やエイズの情報を得たことはありますか?(複数回答)									
スタッフから聞いたことがある	13	46.4%	51	63.8%	28	51.9%	92	56.8%	0.27
利用者から聞いたことがある	2	7.1%	16	20.0%	3	5.6%	21	13.0%	0.07
友達から聞いたことがある	1	3.6%	11	13.8%	5	9.3%	17	10.5%	0.35
雑誌やネットで見たことがある	6	21.4%	19	23.8%	18	33.3%	43	26.5%	0.38
全くない	9	32.1%	11	13.8%	11	20.4%	31	19.1%	0.15
これまでにdista(ディスタ)で悩みや不安について相談したことはありますか?(複数回答)									
スタッフに相談したことがある	7	25.0%	29	36.3%	8	14.8%	44	27.2%	0.06
利用者に相談したことがある	2	7.1%	8	10.0%	4	7.4%	14	8.6%	0.84
友達同士で相談したことがある	2	7.1%	10	12.5%	7	13.0%	19	11.7%	0.78
全くない	19	67.9%	46	57.5%	41	75.9%	106	65.4%	0.23
distaの満足度についておうかがいします。この場所はわかりやすさは?									
とても良い	4	14.3%	16	20.0%	10	18.5%	30	18.5%	0.25
やや良い	17	60.7%	31	38.8%	26	48.1%	74	45.7%	
やや悪い	7	25.0%	26	32.5%	17	31.5%	50	30.9%	
とても悪い	0	0.0%	7	8.8%	1	1.9%	8	4.9%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の広さは?									
とても良い	6	21.4%	19	23.8%	8	14.8%	33	20.4%	0.08
やや良い	19	67.9%	34	42.5%	25	46.3%	78	48.1%	
やや悪い	3	10.7%	26	32.5%	18	33.3%	47	29.0%	
とても悪い	0	0.0%	1	1.3%	3	5.6%	4	2.5%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の使いやすさは?									
とても良い	13	46.4%	35	43.8%	17	31.5%	65	40.1%	0.46
やや良い	14	50.0%	41	51.3%	35	64.8%	90	55.6%	
やや悪い	1	3.6%	4	5.0%	1	1.9%	6	3.7%	
とても悪い	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	1	.6%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の居心地は?									
とても良い	13	46.4%	43	53.8%	24	44.4%	80	49.4%	0.92
やや良い	14	50.0%	34	42.5%	28	51.9%	76	46.9%	
やや悪い	1	3.6%	2	2.5%	1	1.9%	4	2.5%	
とても悪い	0	0.0%	1	1.3%	1	1.9%	2	1.2%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

表 3-1 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 属性

	年齢層								Pearson の カイ2乗
	24歳以下 n=20		25-34歳 n=102		35歳以上 n=88		合計 n=210		
あなたの性別は?									
男性	19	95.0%	97	95.1%	80	90.9%	196	93.3%	0.48
女性	0	0.0%	4	3.9%	6	6.8%	10	4.8%	
その他	1	5.0%	1	1.0%	2	2.3%	4	1.9%	
居住地									
大阪府	11	55.0%	65	63.7%	53	60.2%	129	61.4%	0.28
兵庫県	4	20.0%	19	18.6%	11	12.5%	34	16.2%	
京都府	3	15.0%	5	4.9%	4	4.5%	12	5.7%	
奈良県	0	0.0%	3	2.9%	3	3.4%	6	2.9%	
滋賀県	1	5.0%	0	0.0%	1	1.1%	2	1.0%	
和歌山県	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	.5%	
その他	1	5.0%	10	9.8%	15	17.0%	26	12.4%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか?									
一人暮らし	8	40.0%	55	53.9%	49	55.7%	112	53.3%	0.44
親や兄弟・姉妹と同居	10	50.0%	34	33.3%	27	30.7%	71	33.8%	
同性のパートナーと同居	0	0.0%	4	3.9%	3	3.4%	7	3.3%	
同性の友達と同居	0	0.0%	6	5.9%	2	2.3%	8	3.8%	
異性のパートナーと同居	0	0.0%	1	1.0%	6	6.8%	7	3.3%	
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	2	10.0%	2	2.0%	1	1.1%	5	2.4%	
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか?									
常勤(正規雇用)	9	45.0%	58	56.9%	44	50.0%	111	52.9%	0.00
常勤(非正規雇用)	0	0.0%	10	9.8%	10	11.4%	20	9.5%	
パートタイマー	0	0.0%	2	2.0%	7	8.0%	9	4.3%	
アルバイト	2	10.0%	13	12.7%	1	1.1%	16	7.6%	
経営者	0	0.0%	3	2.9%	10	11.4%	13	6.2%	
学生	8	40.0%	9	8.8%	2	2.3%	19	9.0%	
その他	1	5.0%	7	6.9%	14	15.9%	22	10.5%	
あなたは以下のどれにあてはまりますか?									
ゲイ	16	80.0%	90	88.2%	71	80.7%	177	84.3%	0.08
バイセクシュアル	0	0.0%	5	4.9%	6	6.8%	11	5.2%	
ヘテロセクシュアル	1	5.0%	4	3.9%	8	9.1%	13	6.2%	
わからない	2	10.0%	0	0.0%	2	2.3%	4	1.9%	
決めたくない	1	5.0%	3	2.9%	1	1.1%	5	2.4%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

表 3-2 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 過去6ヵ月間の施設利用経験

	年齢層						合計 n=210	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=20		25-34歳 n=102		35歳以上 n=88				
過去6ヵ月間の商業施設利用(複数回答)									
過去6ヵ月間の商業施設利用(再掲)	13	65.0%	80	78.4%	65	73.9%	158	75.2%	0.41
ゲイバー	10	50.0%	70	68.6%	46	52.3%	126	60.0%	0.16
ゲイナイト	4	20.0%	39	38.2%	14	15.9%	57	27.1%	0.01
ゲイショップ	3	15.0%	25	24.5%	25	28.4%	53	25.2%	0.75
ゲイ向けサークル	3	15.0%	32	31.4%	13	14.8%	48	22.9%	0.08
ゲイ向け合コン	0	0.0%	2	2.0%	1	1.1%	3	1.4%	0.94
mixiなどのSNS	8	40.0%	64	62.7%	48	54.5%	120	57.1%	0.36
PC出会い系サイト	1	5.0%	6	5.9%	7	8.0%	14	6.7%	0.96
携帯出会い系サイト	1	5.0%	6	5.9%	11	12.5%	18	8.6%	0.52
エロ系SNS	0	0.0%	3	2.9%	5	5.7%	8	3.8%	0.72
ゲイ向けアプリ	12	60.0%	70	68.6%	41	46.6%	123	58.6%	0.05
ゲイの乱パ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
有料のハッテン場	5	25.0%	36	35.3%	25	28.4%	66	31.4%	0.79
野外のハッテン場	0	0.0%	7	6.9%	2	2.3%	9	4.3%	0.45
ハッテン場で有名な公共施設	3	15.0%	21	20.6%	14	15.9%	38	18.1%	0.90

表 3-3 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 性感染症既往

	年齢層						合計 n=210	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=20		25-34歳 n=102		35歳以上 n=88				
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(複数回答)									
梅毒	0	0.0%	10	9.8%	7	8.0%	17	8.1%	0.60
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	.5%	0.71
B型肝炎	0	0.0%	7	6.9%	11	12.5%	18	8.6%	0.29
C型肝炎	0	0.0%	1	1.0%	2	2.3%	3	1.4%	0.81
クラミジア	0	0.0%	11	10.8%	10	11.4%	21	10.0%	0.53
尖圭コンジローマ	0	0.0%	5	4.9%	7	8.0%	12	5.7%	0.56
淋病	0	0.0%	2	2.0%	10	11.4%	12	5.7%	0.04
HIV感染症	0	0.0%	8	7.8%	9	10.2%	17	8.1%	0.54
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%	3	1.4%	0.28
毛じらみ	2	10.0%	17	16.7%	29	33.0%	48	22.9%	0.03
性器ヘルペス	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	.5%	0.79
その他	0	0.0%	3	2.9%	0	0.0%	3	1.4%	0.43
いずれもない	16	80.0%	52	51.0%	35	39.8%	103	49.0%	0.02
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(再掲)									
いずれもあり	4	20.0%	50	49.0%	53	60.2%	107	51.0%	0.00
いずれもない	16	80.0%	52	51.0%	35	39.8%	103	49.0%	

表 3-4 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 検査行動

	年齢層						合計 n=210	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=20		25-34歳 n=102		35歳以上 n=88				
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか?									
ある	12	60.0%	89	87.3%	73	83.0%	174	82.9%	0.01
ない	8	40.0%	13	12.7%	15	17.0%	36	17.1%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
これまでに何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?									
1回だけ	3	15.0%	20	19.6%	9	10.2%	32	15.2%	0.10
2回	2	10.0%	16	15.7%	11	12.5%	29	13.8%	
3回	2	10.0%	12	11.8%	6	6.8%	20	9.5%	
4回以上	5	25.0%	38	37.3%	42	47.7%	85	40.5%	
未受検	8	40.0%	13	12.7%	15	17.0%	36	17.1%	
無回答	0	0.0%	3	2.9%	5	5.7%	8	3.8%	
一番最近にHIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?									
過去6ヵ月間の間	8	40.0%	33	32.4%	25	28.4%	66	31.4%	0.15
過去6ヵ月以上前～過去1年の間	2	10.0%	23	22.5%	16	18.2%	41	19.5%	
過去1年以上前～過去3年の間	2	10.0%	19	18.6%	15	17.0%	36	17.1%	
過去3年以上前	0	0.0%	10	9.8%	12	13.6%	22	10.5%	
未受検	8	40.0%	13	12.7%	15	17.0%	36	17.1%	
無回答	0	0.0%	4	3.9%	5	5.7%	9	4.3%	
あなたは今後どのくらいの頻度でHIV検査を受けようと思いますか?									
3ヶ月間に1回くらい	2	10.0%	10	9.8%	14	15.9%	26	12.4%	0.51
6ヶ月間に1回くらい	7	35.0%	23	22.5%	14	15.9%	44	21.0%	
1年間に1回くらい	4	20.0%	27	26.5%	22	25.0%	53	25.2%	
新しい彼氏や恋人ができたり、できそうなときに受ける	2	10.0%	8	7.8%	8	9.1%	18	8.6%	
特に決めていない	4	20.0%	32	31.4%	24	27.3%	60	28.6%	
受けるつもりはない	1	5.0%	1	1.0%	6	6.8%	8	3.8%	
無回答	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	.5%	

表 3-5 コミュニティセンターdista 利用者(12月)年齢層別分析 dista 利用経験

	年齢層						合計 n=210	Pearson の カイ2乗	
	24歳以下 n=20		25-34歳 n=102		35歳以上 n=88				
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか?									
過去6ヵ月以内に訪れた	14	70.0%	72	70.6%	55	62.5%	141	67.1%	0.12
過去6ヵ月より以前に訪れた	1	5.0%	19	18.6%	23	26.1%	43	20.5%	
訪れたことはない(はじめて訪れた)	5	25.0%	11	10.8%	10	11.4%	26	12.4%	
これまでにdista(ディスタ)で性感染症やエイズの情報を得たことはありますか?(複数回答)									
スタッフから聞いたことがある	11	55.0%	57	55.9%	42	47.7%	110	52.4%	0.52
利用者から聞いたことがある	2	10.0%	17	16.7%	9	10.2%	28	13.3%	0.39
友達から聞いたことがある	2	10.0%	12	11.8%	10	11.4%	24	11.4%	0.97
雑誌やネットで見たことがある	3	15.0%	30	29.4%	25	28.4%	58	27.6%	0.41
全くない	7	35.0%	18	17.6%	22	25.0%	47	22.4%	0.17
これまでにdista(ディスタ)で悩みや不安について相談したことはありますか?(複数回答)									
スタッフに相談したことがある	4	20.0%	26	25.5%	16	18.2%	46	21.9%	0.57
利用者に相談したことがある	2	10.0%	11	10.8%	7	8.0%	20	9.5%	0.74
友達同士で相談したことがある	1	5.0%	18	17.6%	9	10.2%	28	13.3%	0.30
全くない	14	70.0%	65	63.7%	58	65.9%	137	65.2%	0.69
distaの満足度についておうかがいします。この場所はわかりやすさは?									
とても良い	4	20.0%	16	15.7%	20	22.7%	40	19.0%	0.48
やや良い	7	35.0%	51	50.0%	39	44.3%	97	46.2%	
やや悪い	9	45.0%	35	34.3%	26	29.5%	70	33.3%	
とても悪い	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%	2	1.0%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	.5%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の広さは?									
とても良い	15	75.0%	53	52.0%	52	59.1%	120	57.1%	0.48
やや良い	5	25.0%	46	45.1%	33	37.5%	84	40.0%	
やや悪い	0	0.0%	3	2.9%	1	1.1%	4	1.9%	
とても悪い	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	.5%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	.5%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の使いやすさは?									
とても良い	12	60.0%	49	48.0%	41	46.6%	102	48.6%	0.53
やや良い	7	35.0%	49	48.0%	46	52.3%	102	48.6%	
やや悪い	1	5.0%	3	2.9%	0	0.0%	4	1.9%	
とても悪い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	1	1.0%	1	1.1%	2	1.0%	
distaの満足度についておうかがいします。この場所の居心地は?									
とても良い	11	55.0%	54	52.9%	53	60.2%	118	56.2%	0.78
やや良い	9	45.0%	46	45.1%	32	36.4%	87	41.4%	
やや悪い	0	0.0%	2	2.0%	2	2.3%	4	1.9%	
とても悪い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	.5%	

2. 検査会利用者の属性に関する調査結果

研究代表者：塩野徳史（大阪青山大学/MASH 大阪）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、宮田りりい（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH 大阪）

鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

松本健二（大阪市保健所感染症対策監）

半羽宏之（大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課長）

櫻井理恵、真木景子、松村直樹（大阪市保健所感染症対策課）

岡本香子（保健衛生検査所）

研究要旨

目的：

日本の HIV 感染は MSM を中心に限局的に拡大しており、特にゲイ向け商業施設利用者が感染リスクの高い集団であると指摘されている。また梅毒の感染増加も報告されている。本研究ではゲイコミュニティにおけるコホートを構築し、HIV 感染や梅毒感染の動向を明らかにすることで、今後の感染対策の方針や予防啓発の評価尺度とすることを目的とした。

方法：

本年度は検査会を 6 回実施した。対象者の特定には指紋認証システムによって、住所や氏名などの個人情報取得せずコホート集団を構築した。本年度は 2017 年 11 月時点での検査会利用者におけるコホート登録者を対象に分析を進めた。また本研究で構築したコホート集団を対象に人年法を用いて、梅毒感染罹患率を推計した。

結果：

コホート登録時の梅毒抗体陽性割合は 7.2%、梅毒抗体抗原新規陽性割合は 4.7%、HIV 抗体抗原新規陽性割合は 4.2%であった。登録者のうち再受検者は 43 人（継続率 18.1%）であり、本研究で構築したコホートにより、45.5 人年（546 人月）が追跡できた。このうち追跡中の新たな HIV 抗体抗原新規陽性者は 0 人、梅毒抗体抗原新規陽性者は 1 人であった。HIV 感染罹患率は計算できなかったが、人年法により梅毒感染罹患率は 2.20%/年（95%信頼区間：-2.06%～6.46%）であった。

考察：

コホート登録者における再受検率は低いが徐々に増加しており、今後も検査会を継続しデータを蓄積していくことができれば、予防啓発活動の浸透と成果を測る上で、有効な指標となりうると思う。

A. 研究目的

大阪地域の MSM における感染動向は厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、大阪を含む近畿地域の 2014 年新規 HIV 感染者数は、男性同性間性的接触によるものが 147 人で 2013 年 (161 人) に比べやや減少傾向を示している。しかし新規 AIDS 患者数は 49 人であり、2013 年 (49 人) と同数である。先行研究で報告されている近畿地域の MSM 割合を用いた罹患率では、HIV 罹患率が 43.1(2012 年)、58.3(2013 年)、53.3(2014 年) であり、AIDS 罹患率は 15.6(2012 年)、17.8(2013 年)、17.8(2014 年) であり減少したとは言えない。

MSM 出生年代別にみた先行研究では AIDS 罹患率の推移は 1950 年代生まれ以外のいずれの年代でも増加傾向であった。近年では 1970 年代生まれや 1980 年代生まれでは感染拡大傾向は抑制されつつあるものの、出生年代層が若い群の方がより高く相対的に MSM 集団における感染拡大が示唆されている。特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発であり、感染リスクの高い集団である。また MSM において梅毒は感染が増加していることも報告されており、MSM 対象の検査会での梅毒有病率は HIV 感染よりも高い。

**付表1 先行研究による
MSMを対象とした検査会結果**

検査会名(地域)	年	N	HIV	梅毒
SWITCH (大阪)	2000	247	1.3%	14.7%
	-2002	-397	-3.3%	-19.6%
MaQ PLuS+ FINAL(大阪)	2010	147	4.1%	-
NLGR+ 検査会(愛知)	2001	148	1.2%	-
	2013	-538	-4.7%	-
かながわレイホーセンター-SHIP (神奈川)	2008	85	2.4%	7.3%
	-2011	-115	-3.6%	-12.9%
distaでちえつくん (大阪)	2015 1月	60	1.7%	3.3% (SST)

MSM における HIV 感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。初年度は大阪のゲイ向け商業施設を中心としたゲイコミュニティにおいて、血液検査と連動

させた前向きコホートを構築することを目的とした。本報告では検査会利用者の属性について明らかにすることを通して、コミュニティセンターでの検査会の効果について検討する。

B. 研究方法

1) コホートの構築方法

本研究では対象者の個人特定には生体認証の技術(スワイプ式指紋認証システム)を応用したシステムによって、住所や氏名などの個人情報取得することなくコホート集団を構築することとした。

認証された指紋情報は、ソフトウェア(OmniPass)を活用し、暗号化した上で ID を発行する仕組みとした。対象者には口頭で説明し、同意を得た上で指紋情報を登録してもらい、内蔵されたソフトウェアによって暗号化し、指紋情報と一致させた個別の ID を番号シールとして発行した。

情報の保守性を考慮し、本研究で活用する機器端末は、インターネット接続されない仕組みとした。

2) 分析方法

各回の受検者の属性について単純集計を行った。年齢はコミュニティセンター利用者と同様に、24 歳以下、25 歳-34 歳、35 歳以上の 3 区分の年齢層に分類した。質問項目は、年齢層、性別、居住形態、職業、セクシュアリティなどの基本属性と、過去 6 カ月間の商業施設などの利用状況、性感染症既往歴、性行動、検査行動、コミュニティセンター dista の利用状況、本検査会における満足度とした。

本年度は 2017 年 11 月までの検査会利用者におけるコホート登録者を対象に分析を進めた。また本研究で構築したコホート集団を対象に人年法を用いて、梅毒感染罹患率を推計した。単純集計には、SPSS23 を用いた。

なお、本調査は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得ている。(ID 番

号 15014-2 2015 年 6 月 23 日) また大阪青山大学倫理委員会の承認も得た。(ID:2906 2017 年 9 月 27 日)

C. 研究結果

検査会は曜日を変えて初年度に 4 回、2 年度目に 5 回した。最終年度は 6 回実施した。2017 年 11 月までの結果概要は表 1 に示す。また各回の受検者の概要については表 2 ~ 表 7 に示す。

3 年間の累計で受検者数 432 人、はじめて本検査会を利用した人のうち指紋登録者割合 71.6%、HIV 陽性者数 11 人 (2.5%)、梅毒陽性者 (要治療) 数 19 人 (4.4%) であった。なお、HIV 陽性者は HIV 抗体抗原検査で、これまで未診断であった人であり、今回新たに感染が判明した人であることを結果告知時に確認している。また、本検査会では梅毒検査を受検せず、HIV 抗体検査のみを受検することを希望する人もあり、梅毒陽性割合の算出には梅毒検査を受検した 427 人を対象とした。梅毒陽性は RPR 陽性かつ TP 抗体陽性の人であり、治療中であることが分かっている場合は除いて集計した。

表 1 検査会の実施概要 (2017 年 12 月時点)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	累計
受検者数	127 人	171 人	134 人	432 人
指紋登録者	78.6%	67.6%	68.8%	71.6%
HIV 陽性数 (下段)割合	7 人 5.5%	2 人 1.2%	2 人 1.5%	11 人 2.5%
梅毒陽性数 (下段)割合**	5 人 4.0%	9 人 5.3%	5 人 3.7%	19 人 4.4%

*HIV 陽性は新規判明、梅毒陽性は RPR 陽性かつ TP 抗体陽性。

**梅毒検査を受検した人を母数として算出した。

3 年間検査会を継続し、2017 年 11 月時点で登録者 237 人となった。

コホート登録者における属性については、平均年齢 33.8 ± 11.0 歳 (最少年齢 17 歳、最高年齢 73 歳) であり、年齢層別には 20 代が 37.3% と最も多く、次いで 30 代 23.7%、40 代 19.5% であった。

大阪府在住 71.2%、ゲイ 82.6%、常勤 (正規雇用) 47.9% であった。また過去 6 ヶ月間のゲイ向け商業施設利用率は 82.2% であり、コミュニティセンター dista の初来場者は 46.2% であった。生涯の受検経験率は 65.7% であり、過去 6 ヶ月間のアナルセックス経験者 (165 人、69.9%) のうち、一番最近のアナルセックスにおけるコンドーム使用割合は 60.0% であった。

コホート登録時の梅毒抗体陽性割合は 7.2%、梅毒抗体抗原新規陽性割合は 4.7%、HIV 抗体抗原新規陽性割合は 4.2% であった。

登録者のうち再受検者は 43 人 (継続率 18.1%) であり、本研究で構築したコホートにより、45.5 人年 (546 人月) が追跡できた。このうち追跡中の新たな HIV 抗体抗原新規陽性者は 0 人、梅毒抗体抗原新規陽性者は 1 人であった。HIV 感染罹患率は計算できなかったが、人年法により梅毒感染罹患率は 2.20%/年 (95% 信頼区間: -2.06% ~ 6.46%) であった。

D. 考察

本研究ではコミュニティセンター dista での検査会を通して、日本で初めてとなるゲイコミュニティにおけるコホート集団を構築した。検査会利用者は累計 432 人となり、大阪府内保健所の年間 MSM 受検者 (約 700 人、2015 年のデータをもとに推定) と比べ、コミュニティセンターでの検査会は訴求力が高く、効果的であったと考える。検査会利用者は、対象集団となるコミュニティセンター利用者の属性と類似しており、HIV 陽性率 2.5% であったことから感染リスクの高い集団であったと言える。

現時点では HIV 感染の推計は困難であったが、梅毒感染の罹患率推計は 2.20%/年（95%信頼区間：-2.06%～6.46%）であった。コホート登録者における再受検率は低いが増加しており、今後も検査会を継続しデータを蓄積していくことができれば、予防啓発活動の浸透と成果を測る上で、有効な指標となりうると思われる。

E. 結論

本検査会利用者の属性はコミュニティセンター-dista 利用者と類似しており、ゲイ向け商業施設利用者割合は高かった。本検査会は検査ニーズの高いハイリスク層が対象となったと考えられる。

しかし受検者数およびコホート登録者数は当初の目標より少なく広報方法を工夫する必要がある。次年度以降は、本検査会の仕組みがそのまま大阪市によって事業化される予定であり、研究を継続していく。

結果概要 (2015年8月～2017年11月)



表2 検査会利用者における属性

		1月 n=43		5月 n=47		2017年 7月 n=30		9月 n=25		11月 n=31		合計 n=176		Pearsonの カイ2乗	
居住地															
	大阪市	23	53.5%	18	38.3%	14	46.7%	10	40.0%	16	51.6%	81	46.0%	0.28	
	堺市	0	0.0%	2	4.3%	1	3.3%	1	4.0%	0	0.0%	4	2.3%		
	高槻市	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	2	1.1%		
	東大阪市	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.5%	3	1.7%		
	豊中市	4	9.3%	1	2.1%	1	3.3%	1	4.0%	1	3.2%	8	4.5%		
	枚方市	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	1	3.2%	2	1.1%		
	上記を除く大阪府内	6	14.0%	9	19.1%	3	10.0%	6	24.0%	4	12.9%	28	15.9%		
	その他	9	20.9%	16	34.0%	7	23.3%	5	20.0%	7	22.6%	44	25.0%		
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	3	10.0%	1	4.0%	0	0.0%	4	2.3%		
居住地(再掲)															
	大阪府	34	79.1%	31	66.0%	20	66.7%	17	68.0%	25	80.6%	127	72.2%	0.22	
	兵庫県	5	11.6%	10	21.3%	3	10.0%	4	16.0%	5	16.1%	27	15.3%		
	京都府	2	4.7%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	1	3.2%	4	2.3%		
	奈良県	0	0.0%	4	8.5%	1	3.3%	1	4.0%	0	0.0%	6	3.4%		
	滋賀県	1	2.3%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%		
	和歌山県	0	0.0%	1	2.1%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%		
	その他	1	2.3%	0	0.0%	4	13.3%	3	12.0%	0	0.0%	8	4.5%		
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
年齢層															
	24歳以下	4	9.3%	11	23.4%	8	26.7%	4	16.0%	4	12.9%	31	17.6%	0.55	
	25-34歳	19	44.2%	9	19.1%	9	30.0%	8	32.0%	11	35.5%	56	31.8%		
	35歳以上	15	34.9%	21	44.7%	9	30.0%	9	36.0%	13	41.9%	67	38.1%		
	無回答	5	11.6%	6	12.8%	4	13.3%	4	16.0%	3	9.7%	22	12.5%		
あなたは以下のどれにあてはまりますか?															
	ゲイ(同性愛者)	35	81.4%	35	74.5%	23	76.7%	16	64.0%	18	58.1%	127	72.2%	0.26	
	バイセクシュアル(両性愛者)	6	14.0%	12	25.5%	5	16.7%	7	28.0%	11	35.5%	41	23.3%		
	ヘテロセクシュアル(異性愛者)	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%		
	わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%	1	0.6%		
	その他	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%		
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	6.7%	2	8.0%	1	3.2%	5	2.8%		

表3 検査会利用者における属性

	1月		5月		2017年 7月		9月		11月		合計		Pearsonの カイ2乗
	n=43		n=47		n=30		n=25		n=31		n=176		
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？(複数回答)													
一人暮らし	23	53.5%	26	55.3%	17	56.7%	11	44.0%	16	51.6%	93	52.8%	0.61
親や兄弟・姉妹と同居	18	41.9%	19	40.4%	9	30.0%	12	48.0%	12	38.7%	70	39.8%	0.55
同性のパートナーと同居	1	2.3%	1	2.1%	1	3.3%	0	0.0%	1	3.2%	4	2.3%	0.64
同性の友達と同居	1	2.3%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%	0.54
異性のパートナーと同居	1	2.3%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.0%	1	3.2%	4	2.3%	0.54
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか？													
常勤(正規雇用)	27	62.8%	20	42.6%	10	33.3%	14	56.0%	16	51.6%	87	49.4%	0.15
常勤(非正規雇用)	5	11.6%	6	12.8%	3	10.0%	4	16.0%	4	12.9%	22	12.5%	
パートタイマー	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%	
アルバイト	3	7.0%	4	8.5%	4	13.3%	3	12.0%	3	9.7%	17	9.7%	
経営者	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.7%	4	2.3%	
学生	5	11.6%	11	23.4%	8	26.7%	2	8.0%	2	6.5%	28	15.9%	
その他	3	7.0%	3	6.4%	3	10.0%	1	4.0%	3	9.7%	13	7.4%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.0%	0	0.0%	3	1.7%	

表4 検査会利用者における属性

	1月		5月		2017年 7月		9月		11月		合計		Pearsonの カイ2乗
	n=43		n=47		n=30		n=25		n=31		n=176		
過去6ヵ月間の商業施設などの利用（複数回答）													
過去6ヵ月間の商業施設利用(再掲)	36	83.7%	38	80.9%	24	80.0%	17	68.0%	24	77.4%	139	79.0%	0.63
ゲイバー	24	55.8%	26	55.3%	17	56.7%	14	56.0%	17	54.8%	98	55.7%	0.87
ゲイナイト	16	37.2%	11	23.4%	6	20.0%	7	28.0%	7	22.6%	47	26.7%	0.52
ゲイショップ	12	27.9%	14	29.8%	10	33.3%	7	28.0%	5	16.1%	48	27.3%	0.63
ゲイ向けサークル	8	18.6%	5	10.6%	1	3.3%	2	8.0%	3	9.7%	19	10.8%	0.42
ゲイ向け合コン	1	2.3%	2	4.3%	1	3.3%	0	0.0%	1	3.2%	5	2.8%	0.78
mixiなどのSNS	18	41.9%	13	27.7%	9	30.0%	13	52.0%	10	32.3%	63	35.8%	0.30
PC出会い系サイト	7	16.3%	5	10.6%	3	10.0%	5	20.0%	5	16.1%	25	14.2%	0.69
携帯出会い系サイト	7	16.3%	10	21.3%	7	23.3%	7	28.0%	3	9.7%	34	19.3%	0.50
エロ系SNS	3	7.0%	5	10.6%	1	3.3%	0	0.0%	3	9.7%	12	6.8%	0.49
ゲイ向けアプリ	33	76.7%	33	70.2%	18	60.0%	18	72.0%	20	64.5%	122	69.3%	0.68
ゲイの乱パ	3	7.0%	3	6.4%	3	10.0%	1	4.0%	1	3.2%	11	6.3%	0.74
有料のハッテン場	26	60.5%	27	57.4%	17	56.7%	13	52.0%	17	54.8%	100	56.8%	0.84
野外のハッテン場	8	18.6%	3	6.4%	2	6.7%	4	16.0%	4	12.9%	21	11.9%	0.42
ハッテン場で有名な公共施設	14	32.6%	9	19.1%	4	13.3%	7	28.0%	5	16.1%	39	22.2%	0.35
いずれもなし	3	7.0%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.0%	0	0.0%	6	3.4%	0.33
今日を除いて、これまでにdista(ディスタ)を訪れたことがありますか？													
過去6ヵ月以内に訪れた	14	32.6%	15	31.9%	14	46.7%	13	52.0%	10	32.3%	66	37.5%	0.67
過去6ヵ月より以前に訪れた	8	18.6%	13	27.7%	8	26.7%	7	28.0%	9	29.0%	45	25.6%	
訪れたことはない(はじめて訪れた)	19	44.2%	18	38.3%	7	23.3%	5	20.0%	11	35.5%	60	34.1%	
無回答	2	4.7%	1	2.1%	1	3.3%	0	0.0%	1	3.2%	5	2.8%	
「distaでピタッとちえっくん」について伺います。今後も利用したいと思いますか？理由もあわせてお答えください。													
また利用したい	38	88.4%	41	87.2%	25	83.3%	25	100.0%	27	87.1%	156	88.6%	0.60
もう利用したくない	0	0.0%	1	2.1%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%	
無回答	5	11.6%	5	10.6%	4	13.3%	0	0.0%	4	12.9%	18	10.2%	

表 5 検査会利用者における属性

	2017年										Pearsonの カイ ² 乗		
	1月 n=43		5月 n=47		7月 n=30		9月 n=25		11月 n=31			合計 n=176	
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか?													
ある	32	74.4%	33	70.2%	25	83.3%	21	84.0%	26	83.9%	137	77.8%	0.46
ない	11	25.6%	14	29.8%	5	16.7%	4	16.0%	5	16.1%	39	22.2%	
これまでに何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?													
ない・無回答	11	25.6%	14	29.8%	5	16.7%	4	16.0%	5	16.1%	39	22.2%	0.02
1回・2回	8	18.6%	19	40.4%	6	20.0%	5	20.0%	14	45.2%	52	29.5%	
3回以上ある	24	55.8%	14	29.8%	19	63.3%	16	64.0%	12	38.7%	85	48.3%	

表 6 検査会利用者における属性

	1月		5月		2017年 7月		9月		11月		合計		Pearsonの カイ ² 乗
	n=43		n=47		n=30		n=25		n=31		n=176		
これまでにかかったことがある性感染症はありますか? (複数回答)													
梅毒	2	4.7%	5	10.6%	2	6.7%	5	20.0%	3	9.7%	17	9.7%	0.31
A型肝炎	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.41
B型肝炎	1	2.3%	4	8.5%	0	0.0%	3	12.0%	3	9.7%	11	6.3%	0.26
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
クラミジア	6	14.0%	1	2.1%	2	6.7%	1	4.0%	3	9.7%	13	7.4%	0.20
尖圭コンジローマ	3	7.0%	3	6.4%	3	10.0%	2	8.0%	2	6.5%	13	7.4%	0.67
淋病	1	2.3%	1	2.1%	3	10.0%	0	0.0%	2	6.5%	7	4.0%	0.21
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0.46
毛じらみ	7	16.3%	12	25.5%	7	23.3%	3	12.0%	7	22.6%	36	20.5%	0.45
性器ヘルペス	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	2	1.1%	0.40
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%	1	0.6%	0.27
いずれもない	24	55.8%	28	59.6%	12	40.0%	14	56.0%	14	45.2%	92	52.3%	0.55
これまでにかかったことがある性感染症はありますか? (再掲)													
いずれかあり	14	32.6%	17	36.2%	12	40.0%	9	36.0%	13	41.9%	65	36.9%	0.93
いずれもない	29	67.4%	30	63.8%	18	60.0%	16	64.0%	18	58.1%	111	63.1%	

表7 検査会利用者における属性

	1月		5月		2017年 7月		9月		11月		合計		Pearsonの カイ2乗
	n=43		n=47		n=30		n=25		n=31		n=176		
1) 話し方・言葉づかいはどうでしたか?													
とても満足	37	86.0%	39	83.0%	26	86.7%	21	84.0%	26	83.9%	149	84.7%	0.73
やや満足	5	11.6%	7	14.9%	2	6.7%	4	16.0%	3	9.7%	21	11.9%	
やや不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%	1	0.6%	
無回答	1	2.3%	1	2.1%	2	6.7%	0	0.0%	1	3.2%	5	2.8%	
2) 質問しやすい雰囲気についてはどうでしたか?													
とても満足	36	83.7%	40	85.1%	26	86.7%	20	80.0%	27	87.1%	149	84.7%	0.51
やや満足	6	14.0%	6	12.8%	1	3.3%	3	12.0%	2	6.5%	18	10.2%	
やや不満	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	2	8.0%	1	3.2%	4	2.3%	
無回答	1	2.3%	1	2.1%	2	6.7%	0	0.0%	1	3.2%	5	2.8%	
3) 安心できる雰囲気についてはどうでしたか?													
とても満足	35	81.4%	39	83.0%	25	83.3%	20	80.0%	25	80.6%	144	81.8%	0.04
やや満足	7	16.3%	7	14.9%	3	10.0%	2	8.0%	5	16.1%	24	13.6%	
やや不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.0%	0	0.0%	3	1.7%	
無回答	1	2.3%	1	2.1%	2	6.7%	0	0.0%	1	3.2%	5	2.8%	
4) プライバシー保護についてはどうでしたか?													
とても満足	27	62.8%	31	66.0%	24	80.0%	19	76.0%	24	77.4%	125	71.0%	0.46
やや満足	11	25.6%	9	19.1%	3	10.0%	3	12.0%	6	19.4%	32	18.2%	
やや不満	4	9.3%	6	12.8%	1	3.3%	3	12.0%	0	0.0%	14	8.0%	
無回答	1	2.3%	1	2.1%	2	6.7%	0	0.0%	1	3.2%	5	2.8%	

研究成果の刊行に関する一覧表

著者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
金子典代, 塩野徳史, 内海眞, 山本政弘, 健山正男, 鬼塚哲郎, 伊藤俊広, 市川誠一	成人男性の HIV 検査受 検, 知識, HIV 関連情報 入手状況, HIV 陽性者の 身近さの実態- 2009 年調 査と 2012 年調査の比較-	日本エイズ学 会誌	19(1)	16-23	2017